

賢い検索：学術全文文献へのオープンアクセス（Peter Jacsó）

Jacsó, Peter. Savvy Searching: Open access to scholarly full-text documents. *Online Information Review*. Vol.30, No.5, 2006, pp.587-594.

抄録

目的 — 本稿の目的は学術全文文献へのオープンアクセスについて検討することである。

設計／方法論／アプローチ — 学術全文文献へのオープンアクセスについて検討する。

知見 — 本論文はオープンアクセス・アーカイブが大多数、出版社、編集者および著者にとって価値がある一方で、オープンアクセス論文はそれらのインパクトや収録雑誌のインパクトファクターを相当増加させることができる。

新規性／価値 — 本論文は学術全文文献への知識をもたらす。

キーワード デジタル保管、大学、出版社

論文の種類 総合レビュー

はじめに

本コラムの前号では、学術索引・抄録文献へのオープンアクセスの代替手段について検討した（Jacsó, 2006a）。これらは、印刷体、CD-ROM およびオンライン形式あるいはそのいずれか一方の有料索引・抄録出版物を完全にせよ一部にせよ代替し、ある主題に関連した出版文献の同定の際に図書館に何千ドルもの節約をもたらすことができる。しかしながら、多くの図書館にとって、二次[情報]サービスが対象としている収録雑誌の印刷版を購読せずに、文献デリバリー・サービスはいうまでもなく相互貸借の予算を十分に持っていない場合は、オープンアクセス二次[情報]サービスはほとんど役に立たない。これは開発途上国にとって重大な問題である。加えて、多くの利用者にとって、たとえ一次文献（の大半）が直ちに、あるいは図書館を通じて印刷形態で入手できたとしても、索引・抄録出版物を経由した資源の発見は満足ゆくものではない。

本コラムではデジタル形式の一次学術文献全文へのさまざまなオープンアクセス代替手段について検討する。これらは文献の全文の提供「のみ」ならず、技術面、財政面、あるいはスペース面の理由から印刷形式では利用できなかった（集計テーブルの詳細版、アンケート、カラーのグラフ、表および他の資料のような）補遺や追加コンテンツまでも次々に提供するかもしれない。最も重要なことは、全文オープンアクセス・デジタル学術文献コレクションのプロバイダの大半は、全文それ自体を検索する選択肢を提供する—しかしながら、効率の良さはまちまちである。

オープンアクセス学術全文文献のプロバイダと種類

学術全文文献の最大規模のコレクションは、（直接にせよ間接にせよ電子化の仲介者を介した）新規のあるいは従来の学術出版社と並んで政府機関、学協会、大学、専門家のボランティアグループが維持するデジタル・デポジトリやリポジトリによって提供される。

[米国の]政府機関の一部は、司法省、運輸省、エネルギー省、教育省がそれぞれ提供する全国刑事裁判レファレンスサービス（NCJRS: National Criminal Justice Reference

Service), 郵送調査情報サービス (TRIS: Transportation Research Information Services), InfoBridge および ERIC データベースのような何万件もの科学技術レポートに対するオープンアクセスの提供の点で優れている。ERIC データベースのオープンアクセス版が 110,000 件の ERIC Digest の文献の全文を検索しないのは残念である。全文があるアイテムを検索するように制限できるかもしれないが、該当の検索語が、全文にのみ含まれ、かつ書誌データ (標題, 抄録, 記述子, 識別子など) に含まれない文献は見つけれないだろう。ERIC データベースで全文を強化したオープンアクセス版からいちばん良い所を引き出すのが応急措置のはずである。

国立衛生研究所 (NIH: National Institute of Health) の PubMed Central データベースは、医学および生命科学におけるオープンアクセス全文雑誌論文の飛び抜けて最大規模のプロバイダである。PubMed 自体は、オープンアクセス論文へのリンクを持つ、たいへん強力なオープンアクセス抄録・索引データベースである。PubMed Central は、そのデポジトリの 650,000 件に近いオープンアクセス全文学術論文によってさらに大きな一歩を踏み出した。これらの論文は、一単にちょっとした理解力 (the savvy) にリンクするだけではなく—当該サイト : pubmed.nih.gov のフィルターとともに Google, Google Scholar, Yahoo! を使用して十分に強力に検索できる。それらはすべて PubMed Central のサイトを巡回検索するが、どれもが完全ではない。これは MEDLINE のどのバージョンよりもはるかに質の面で優れている点である。PubMed Central は、PMC が全文を保管している一部の雑誌 (例 : *British Medical Journal*) を収録し、オープンアクセス全文論文にリンクを提供するだけであるが、そのような文献は 5,270 件にしか過ぎない。驚くべきことに、NIH の目覚ましい達成に対して大きな賞賛を与えているのは少数の論文にしか過ぎない (Delamothe and Smith, 2001)。

大学は、デジタル図書館用のソフトウェアの開発や主に教員の出版物の全文版の保管を容易にすることでコレクション構築のみならず、会議の開催やある学問分野の全文学術出版物のデポジトリやリポジトリの役割を果たし、援助を行うことでも役に立っている。物理学における学術論文の arxiv.org リポジトリは、オープンアクセス・コレクションの母とみなすことができる。それは、デジタル図書館開発の要塞の一つとしてコーネル大学によって開発され、維持されている。コンピュータ科学や認知科学や量的生物学 (quantitative biology) の論文がこの約 380,000 件のオープンアクセス全文文献の e プリント・アーカイブに追加された。それは、購読ベースおよび無料のサービスである ISI Web Citation Index や Scirus のような他のいくつかの情報サービスを通じて検索できる。

arxiv.org コレクション (および少数の他のアーカイブ) の最も興味深い利用の一つは、CiteBase によるものである (Brody, 2003)。それは実験的なもので不完全であるが、サウザンプトン大学の Tim Brody が開発した目覚ましいオープンアクセス引用検索サービスである。Brody は英国におけるオープンアクセス・コレクションの作成と利用や引用分析に関連する研究開発プロジェクトの指導者である。

大規模で分野特定のオープンアクセス・コレクションの作成に最も成功したプロジェクトの一つは、CiteSeer (ResearchIndex としても知られていた) である。それは、精緻な自動引用検索部分が強化された 750,000 件のコンピュータ・情報科学文献を含んで

いる (*Giles et al.*, 1998)。それは **NEC Laboratories** が開発し、ペンシルベニア州立大学が維持管理している。ペンシルベニア大学は、経営関連のオープンアクセス学術論文を中心にした類似のオープンアクセス全文データベース **SMEAL Search** を開始した。

CiteSeer は、**Google** が **Google Scholar** を開発するアイデアを与え、**Google** はほとんどの出版社から前例のない支援を受けた。それらの出版社は **Google** のロボットにメタデータや何百万件の全文論文に対する自由なアクセスを提供した。**Google Scholar** が実質的に任意の主題についての学術論文発見の優れたツールである一方で、データ要素の構造化や識別の貧弱さと検索エンジンの根本的な問題によって広くもてはやされている引用分析機能については期待はずれのツールとなっている。多くの研究者が正しいと思いきり、見かけ倒しの引用に基づく極めて膨張したヒット件数や不合理な引用件数を配分する代りに、引用および被引用文献を正確に照合するアルゴリズムを開発する有能な専門家を雇用すれば、はるかに優れたツールが提供できるだろう (*Jacsó*, 2006c)。

学協会はオープンアクセス運動の先駆者であり、特に米国癌学会 (**American Association For Cancer Research**)、米国癌協会 (**American Cancer Society**)、米国糖尿病協会 (**American Diabetes Association**)、米国心臓協会 (**American Heart Association**)、米国生理学会 (**American Physiological Society**)、米国気象学会 (**American Meteorological Society**)、米国分子・生物学会 (**American Society for Biochemistry**)、米国微生物学会 (**American Society for Microbiology**)、米国薬理・実験治療学会 (**American Society for Pharmacology and Experimental Therapeutics**)、内分泌協会 (**The Endocrine Society**)、内分泌学会 (**Society for Endocrinology**)、一般微生物学会 (**Society for General Microbiology**) および王立精神医大学 (**Royal College of Psychiatrists**) は数十万件の全文文献へのオープンアクセスを提供している。

専門家のボランティアグループは、新規にウェブによる雑誌 (**Web-born journals**) を創刊し、既存の印刷体雑誌をデジタル雑誌に変換し、学術出版物のデポジトリへのオープンアクセスを作り出すことのすべてあるいはいずれかひとつに非常に積極的である。54 カ国と米国 34 の州の専門家のボランティアによる、群を抜いて最大でかつ目覚ましいプロジェクトは **RePEc (Research Papers in Economics)** プロジェクトである。これは、経済学の研究を行っている個人や団体の個人および団体のディレクトリ、ソフトウェア・ディレクトリ、約 300,000 件の学術雑誌論文、会議論文、ワーキング・ペーパー (経済学では重要な種類の文献)、図書および図書の章の組み合わせである。本システムは、ほぼ 100,000 件弱の文献が実際に検索可能でオンラインできるとホームページが公表しているように早い割合で発達した。非常に構造化された形式でメタデータと全文文献が利用できることで、さまざまなサービス (収録文献の検索、引用文献検索等) やさまざまな高性能のソフトウェア機能の開発に焦点を当てたボランティアによる多数の実装を刺激した (図 1 参照)。

EconPapers
Economics at your fingertips

[EconPapers Home](#)
[About EconPapers](#)

[Working Papers](#)
[Journal Articles](#)
[Books and Chapters](#)
[Software Components](#)

[Authors](#)

[JEL codes](#)
[New Economics Papers](#)

[Advanced Search](#)

Quick Search

[EconPapers FAQ](#)
[Cookies at EconPapers](#)

RePEc
This site is part of [RePEc](#) and all the data displayed here is part of the RePEc data set.

Is your work missing from RePEc? Here is how to [contribute](#).

Welcome to EconPapers!

EconPapers provides access to [RePEc](#), the world's largest collection of on-line Economics working papers, journal articles and software.

We have:

- 185,632 [Working Papers](#) (126,503 downloadable) in 1,578 series
- 213,061 [Journal Articles](#) (166,494 downloadable) in 505 journals
- 1,393 [Software Items](#) (1,379 downloadable) in 21 series
- 823 [Books](#) (674 downloadable) in 60 series
- 1,502 [Chapters](#) (1,456 downloadable) in 36 series
- 10,341 [Authors](#) and 4,312 individuals have registered in the [RePEc Author Service](#)

for a total of 402,411 searchable working papers, articles and software items with 296,506 items available on-line.

Go to the series listings, [search](#) for papers of interest or check out the [new working papers](#) at EconPapers!

図1 RePEc に実装された EconPapers における文献の種別と量

情報専門家が作成したこのカテゴリーの情報源の集合コレクションのそれ以外の情報源の大半は、比較的小規模なコレクションであるが、デジタル図書館や関連する課題についての *Ariadne* や *D-Lib Magazine* や *First Monday* に掲載された論文のように、ある学問分野の特定のテーマに焦点を絞っている。極めて限られた例では、能力と関心とスタミナのある個人が傑出した成果を生み出している。ウェブによる雑誌、*Information Research* は編集者であるシェフィールド大学の Tom Wilson 教授の奉仕活動の賜である。それは、Web of Science データベースの情報図書館学のカテゴリーのウェブのみによるオープンアクセス雑誌で、多くの従来の図書館情報学雑誌（それらの一部はウェブ上に相当量のデジタル版を持っていないし、購読者に対してさえそうである）を含む本カテゴリーの他の 35 誌よりも高いインパクトファクターを持っているというこの雑誌の質についてのよい目安を示す。

新しい出版社である BioMed Central については、160 を超える全文文献へのオープンアクセスの提供で目立っている。（これらの一部は *Acta Veterinaria Scandinavica* のように BMC のプラットフォームの利用に切り換えた BMC 以外の雑誌であり、完全なオープンアクセスになった。）BMC が出版またはホストする雑誌の大半では、すべての研究論文がオープンアクセスであるが、レビューや委託論文のようなそれ以外の種類の出

出版物には著しい例外がある。例えば、*Arthritis Research & Therapy* には 445 件のオープンアクセス研究論文とそれ以外の 1,720 件の論文がある。後者のカテゴリーの多数の論文はまたオープンアクセスであるが、すべてがそうではない。2006 年に検索対象を絞ると、この雑誌の比率は 90 件の研究論文と 27 件の他の文献であり、そのうち 16 件は購読が必要であった。コレクション全体では、17,000 件の研究論文とそれ以外の 7,800 件の論文があった。検索時に購読ベースの文献を排除する方法はない。このような制約があるにせよ、それはまだ、重要な別のオープンアクセス・データベースである。

多くのユーザが最大数の「無料の」全文文献を持っているにもかかわらず、従来の学術出版社（営利および非営利）とそれらのデジタル仲介者は上記の私のリストの最後に現われる。けれども、それらの全文コレクションの主要な部分は、印刷体雑誌や会議録を購読している図書館の顧客のみに対して無料である。すなわち、それらはどこからでも誰でもが利用できないので本当のオープンアクセスではない。例えば、最大規模の学術出版社 Elsevier は自社の ScienceDirect デジタルコレクションに 650 万件の全文雑誌論文を持っているが、Elsevier やその傘下出版社（Pergamon Press や Academic Press 等）の特定雑誌の印刷版を購読している図書館を通じてのみ無料である。事実、一部の雑誌にはわずかに暫定的なオープンアクセスの号があるが、これらからは予測がつかない。

立派なことに、従来の雑誌の多くは、開発途上国に HINARI や AGORA プロジェクトを通じてそれらの雑誌の多くへオープンアクセスを提供することで寛大さを証明した（Kirsop and Chan, 2005）。

従来の出版社の一部は出版物に対して誠実にあまねくオープンアクセスを提供している。それは、余り有名でない雑誌ばかりでなく当該学問分野で最も高いインパクトを持つ雑誌についてでもある。Oxford University Press はオープンアクセス雑誌の質と量の両面で従来の出版社の中でも傑出している。例えば、*Human Reproduction*, *Human Reproduction Update* および *Molecular Human Reproduction* には 6,000 以上のオープンアクセス論文があり、それらは ISI の Journal Citation Reports 最新版の生殖生物学セクションの 24 誌のうちでインパクトファクターが 1 番目、2 番目、4 番目である。

HighWire Press は、最多のオープンアクセス論文を提供し、2006 年 7 月末現在で約 1,370,000 件の論文がある。これは、HighWire Press の 360 万件の全文論文コレクションの 40%に近い。Ingenta, MetaPress および Allen Press もまた従来の出版社のオープンアクセス雑誌の一部をホストしているにもかかわらず、HighWire Press は最大規模のそして最も傑出したデジタル仲介者である（図 2 参照）。

ISI Web of KnowledgeSM Journal Citation Reports[®] 2005 JCR Science Edition

Journal Title Changes

Journals from: subject categories REPRODUCTIVE BIOLOGY

Sorted by: Impact Factor

Journals 1 - 20 (of 24) Page 1 of 2

Ranking is based on your journal and sort selections.

Mark	Rank	Abbreviated Journal Title (linked to journal information)	ISSN	Total Cites	Impact Factor	Immediacy Index	Articles	Cited Half-life
<input type="checkbox"/>	1	HUM REPROD UPDATE	1355-4786	2239	5.449	0.767	43	4.8
<input type="checkbox"/>	2	HUM REPROD	0268-1161	19646	3.669	0.693	527	6.0
<input type="checkbox"/>	3	BIOL REPROD	0006-3363	19517	3.583	0.755	327	6.2
<input type="checkbox"/>	4	MDL HUM REPROD	1360-9947	3772	3.191	0.427	117	5.2
<input type="checkbox"/>	5	REPRODUCTION	1470-1626	2622	3.136	0.379	169	3.3

図2 出版社の代理のデジタル仲介者である HighWire Press がホストしている生殖生物学における最もインパクトファクターが高い5つの雑誌

HighWire は、多数の出版社のほぼ 1,000 タイトルのうち、Oxford University Press のみでほぼ 200 誌（そのうち 25%がオープンアクセス）をホストしている。それは、科学および社会科学の最もインパクトファクターが高い 200 誌の三分之一をホストしている。生殖生物学セクションの3番目と5番目に格付けされている雑誌である *Biology of Reproduction* および *Reproduction* はまた各出版社の代りに HighWire Press がオープンアクセスの形式を提供している。それはまた、*Proceedings of the National Academy of Science (PNAS)* をホストし、大量の無料の強力で魅力のある付加サービスとともにこの雑誌から 28,500 件以上のオープンアクセス全文文献を提供している。PNAS は ISI の Journal Citation Reports の複合分野カテゴリーで3番目にインパクトファクターが高い逐次刊行物である。

「生殖」というキーワードで検索し、117,000 件の論文が見つかることが、HighWire Press がホストしているオープンアクセス雑誌の量と質を説明している。ヒットした最初の 150 件のうち、46 件は上位に格付けされた雑誌のオープンアクセス論文であった（図3参照）。

http://www.ajbot.org/cgi/content/abstract/97/11/1595#other-articles

HOME HELP FEEDBACK SUBSCRIPTIONS ARCHIVE SEARCH TABLE OF CONTENTS

(American Journal of Botany, 2000, 87: 1599-1608)
© 2000 Botanical Society of America, Inc.

The cost of realized sexual reproduction: assessing patterns of reproductive allocation and sporophyte abortion in a desert moss¹

Lloyd R. Stark^{2,2}, Brent D. Mishler³ and D. Nicholas McLetchie⁴

¹ Department of Biological Sciences, University of Nevada, 4205 Maryland Parkway, Box 454004, Las Vegas, Nevada 89154-4004 USA, ² University Herbarium, Jepson Herbarium, and Department of Integrative Biology, 1001 Valley Life Sciences Bld., #2465, University of California, Berkeley, California, 94720-1465 USA, and ⁴ T.H. Morgan School of Biological Sciences, 101 Morgan Bld., University of Kentucky, Lexington, Kentucky 40506-0225 USA

The desert moss *Syntrichia caesiensis* exhibits one of the most skewed sex ratios in the plant kingdom, with female individuals far outnumbering male individuals (exceeding 14♀:1♂). The "cost of sex hypothesis" derives from allocational theory and predicts that the sex which is most expensive should be the rarer sex. This hypothesis, which, as considered here represents the realized cost of sexual reproduction, is contingent upon two assumptions that are explored: (1) that male sex expression is more expensive than female sex expression, and (2) that sexual reproduction is resource limited. Using inflorescence biomass and discouraging sperm, male sex expression was found to be in the neighborhood of one order of magnitude more expensive than female sex expression, and this difference is reflected in higher numbers of gametangia per male inflorescence, presence of paraphyses in male inflorescences, and a much longer developmental time for male

This Article

- Full Text
- Full Text (PDF)
- Submit a response
- Alert me when this article is cited
- Alert me when citations are posted
- Alert me if a correction is posted

Services

- Email this article to a friend
- Similar articles in this journal
- Similar articles in ISI Web of Science
- Similar articles in PubMed
- Alert me to new issues of the journal
- Download to citation manager
- Cited by other online articles
- Search for citing articles in: ISI Web of Science (28)

Google Scholar

- Articles by Stark, L. R.
- Articles by Mishler, D. N.
- Articles citing this Article

Pubmed

- PubMed Citation
- Articles by Stark, L. R.
- Articles by Mishler, D. N.

AgriCola

- Articles by Stark, L. R.
- Articles by Mishler, D. N.

図3 HighWire Press を通じて利用できる多くの追加サービス

世界中で構築されたオープンアクセスの学術雑誌論文や会議論文のコレクションがある。それらは、単に広範なテーマや地理的な帯域を表示するのみならず、低所得国でさえもオープンアクセス・アーカイブを導入する実行可能性も証明する。米国、英国、カナダおよび日本が集中化されたオープンアクセスと学術出版物の分散化されたアーカイビングの最前線に立っているのは驚くべきことではない。欧州大陸にもまた重要なオープンアクセス・アーカイブ (Dobratz and Matthaei, 2003) があり、低所得国の一部 (特にインドとブラジル) は、オープンアクセス運動が G8 諸国に限定される訳ではなく、発展途上国に広がることを既に証明している。いくつかの例は、2006 年の IFLA 大会のアジア・オセアニア部門の基調講演で実行可能なモデルとして検討した (Jacsó, 2006b)。

オープンアクセスの範囲

ウェブによる雑誌は刊行中に出版された全論文に対してオープンアクセスを提供する。バックナンバーをデジタル化する出版社は多くのさまざまな戦略を持っている。最も便利な (必ずしも本質的ではない) ものは、創刊号から最新号 (あるいは近刊の号でさえ) までオープンアクセスにすることである。例えば、既に検討した *Arthritis Research & Therapy* に加えて 3 つの雑誌の非研究論文を除き、BMC のポートフォリオの大半の雑誌がこの例である。これらのほとんどは 2001 年以降に創刊された。小規模だが成長し続ける PLoS (Public Library of Science) の雑誌ファミリーの場合も同じである。

その他の一部の雑誌、特に PubMed Central と Allen Press における雑誌は、*Journal of*

the Medical Library Association (そしてその前誌: *Bulletin of the Medical Library Association*) は 1911 年まで遡り, *Medical History* は 1957 年から, あるいは *Journal of Clinical Investigation* は 1924 年から (それはまた HighWire Press 上でオープンアクセス雑誌として利用できるが, 1996 年以降に過ぎない) のように, 一部の雑誌の全体に対してオープンアクセスを提供している。PMC が重要な雑誌の全部を提供していると HWP がメッセージを表示しているのはよい姿勢である。

大体的場合, オープンアクセスの範囲の開始には制約がある。これは, 何十年にもわたって印刷版を購読していた購読者に対しても当てはまる。例えば, *Oxford University Press* の約 90% は, 1996 年以降オープンアクセスの形式で利用できる。ずっと古い年の印刷体雑誌の購読者であってもそれらの雑誌の歴史的アーカイブに対しては別途デジタル版購読を行う必要がある。医学図書館展示会の展示で, 私は多くの出版社によって歴史的アーカイブの考え方が導入されつつあることが目についた。それは全て 1995 年以前である。これがムービングウォールーすなわち次の年には 1996 年以前に変更されるだろうであるとするれば, そのままかどうかはわからない。

出版社の大部分が行うオープンアクセスの範囲には別の制約がある (この場合もやはり, *BMC* および *PLoS* の雑誌とごくわずかの例外がある)。これは出版後数ヶ月あるいは数年にわたって利用できる巻号を強制的に遅らせることである。この猶予期間は 3 ヶ月から 36 ヶ月までにわたる可能性がある。最もふつうの猶予期間は 1 年から 2 年のように思われる。最も寛大な出版社でさえも, 家宝である最近の号を無料で与えようとは望まないのだからこれは理解できる。現実を目を向けると, 出版後数ヶ月後より早くにはめったに起こらない, 抄録・索引データベースへの掲載や引用の開始時にのみエンドユーザは興味のある論文を勉強することが非常に多い。

一方についていえることは他方についてもいえる

これらの制約に不満をのべることができるが, 経費を節約し, かなりのドキュメント・デリバリーや相互貸借用の経費をとっておくことができる, 既存のかつ目覚ましいオープンアクセスの代替手段について学習する方が賢い。HighWire Press と違って, ドキュメント・デリバリー・サービスは, サーチャーに論文がオープンアクセス形式で入手できるという事実を知らせない。例えば, *Infotrieve* はオープンアクセス全文コレクションから直ちに入手できる論文について 12 ドルの手数料に加えて著作権料を幸運にも課金する。現行の事例研究 (Papin-Ramcharan and Dawe, 2006) は, 予算が削減しているにもかかわらず, オープンアクセス学術データベースに専ら依存することによって, 西インド大学が研究者に良質な情報サービスを維持するためにどのような管理を行っているかを検討している。

オープンアクセス・アーカイブは一方にもよければ他方にもよい。エンドユーザに対する利点は明らかであるが, 論文のオープンアクセスが顕著にそれらのインパクトや暗黙のうちに収録雑誌のインパクトファクターを増加することを証明した, 短いが啓蒙的な論文 (Lawrence, 2001) が出版されるまで出版社, 編集者および著者に対する利点は, それほど明白ではなかった。その時以来, 多くの研究がこれらの知見の妥当性を検証した (そしてごく少数は疑問を呈した)。特に興味深いのは, 同一雑誌のオープンアクセ

ス論文と非オープンアクセス論文のインパクトを比較した報告書 (Harnad and Brody, 2004) である。サウザンプトン大学の OpCit プロジェクトのメンバーは、オープンアクセスが論文や会議論文に与えるインパクトについての最新の解題付きのウェブ形式の文献目録 (OpCit, 2006) を作成した。

オープンアクセス運動は数年のうちに目覚ましい結果に到達した。これらの達成はその範囲の拡大や強力なソフトウェア機能を持つ新しい全文文献アーカイブの創成を促進するであろう。

引用文献

- Brody, T. (2003), "CiteBase search: autonomous citation database for e-print archives", available at: <http://eprints.ecs.soton.ac.uk/10677/>
- Delamothe, C. and Smith, R. (2001), "PubMed Central: creating an Aladdin's cave of ideas -- we have seen the future, and it works", *BMJ*, Vol. 322 No. 7277, pp. 1-2, available at: www.pubmedcentral.gov/articlerender.fcgi?tool=pmcentrez&artid=1119296
- Dobratz, S. and Matthaei, B. (2003), "Open archives activities and experiences in Europe", *D-Lib Magazine*, Vol 9 No. 1, available at: www.dlib.org/dlib/january03/dobratz/01dobratz.html
- Giles, C.L., Bollacker, K. and Lawrence, S. (1998), "CiteSeer: an automatic citation indexing system", in *Proceedings of the 3rd ACM Conference on Digital Libraries (DL.98)*, Pittsburgh, PA, June 23-26, pp. 89-98, available at: <http://citeseer.ist.psu.edu/108208.html>
- Harnad, S. and Brody, T. (2004), "Comparing the impact of Open Access (OA) vs. Non-OA articles in the same journals", *D-Lib Magazine*, Vol. 10 No. 6, available at: www.dlib.org/dlib/june04/harnad/06harnad.html
- 日本語訳: 同一ジャーナルに掲載されたオープンアクセス論文と非オープンアクセス論文のインパクトを比較する (Stevan Harnad) <<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/harnad/>>
- Jacso', P. (2006a), "Open access to scholarly indexing/abstracting information", *Online Information Review*, Vol. 30 No. 4, pp. 461-8.
- Jacso', P. (2006b), "Open access scholarly databases . a bird's eye view of the landscape", available at: www.i.a.org/IV/i.a72/papers/157-Jacso-en.pdf
- Jacso', P. (2006c), "Deflated, inflated, and phantom citation counts", *Online Information Review*, Vol. 30 No. 3, pp. 297-309.
- Kirsop, B. and Chan, L. (2005), "Transforming access to research literature for developing countries", *Serials Review*, Vol. 31 No. 4, pp. 246-55.
- Lawrence, S. (2001), "Free online availability substantially increases a paper's impact", *Nature*, available at: www.nature.com/nature/debates/e-access/Articles/lawrence.html
- OpCit (2006), "The effect of open access and downloads ('hits') on citation impact: a bibliography of studies", available at: <http://opcit.eprints.org/oacitation-biblio.html>
- Papin-Ramcharan, J. and Dawe, R.A. (2006), "Confronting the cost of information for a research library in the developing world -- the University of the West Indies, Trinidad and Tobago's experience", *The International Information & Library Review*, Vol. 38 No. 1, pp. 15-24.

連絡著者

Peter Jacsó 氏には Jacso@hawaii.edu で連絡できる。